2026 年 3 月 27 日作成　Ver.1.0

≪情報公開文書≫

肺非結核性抗酸菌症の医療供給体制および検査実施体制に関する後ろ向き観察研究

研究の概要

【背景】
肺非結核性抗酸菌症は慢性の呼吸器感染症であり、日本では患者数が年々増加しています。この病気は進行がゆっくりである一方、診断や治療が難しく、適切な検査や治療方針の決定には専門的な知識や経験が必要とされます。
多くの患者さんは、最初に一般の医療機関を受診し、その後、肺非結核性抗酸菌症の専門的な診療を行う医療機関へ紹介されます。しかし、どのような患者さんがどの時点で専門医療機関へ紹介されているのか、また診断や治療開始までのどの過程で時間がかかっているのかについては、十分に分かっていません。
さらに、一般の医療機関においてどのような検査や治療が実際に行われているのかについても、これまで十分に明らかになっていません。そのため、現在の医療体制における課題を把握し、より適切な診療や病院同士の連携を検討するための情報が不足しています。

【目的】
この研究は、肺非結核性抗酸菌症の患者さんが、肺非結核性抗酸菌症の専門病院に紹介されるまでの経過や、診断・治療に至るまでの流れを明らかにすることを目的としています。

【意義】
この研究により、診断や治療までに時間がかかる原因や、病院同士の連携の課題が明らかになることが期待されます。その結果、より早く適切な診断・治療につなげる体制づくりに役立つと考えています。

【方法】
本研究は「後ろ向き観察研究」という、通常の診療で得られた過去のデータを使う研究で、本研究のために患者さんに追加で検査などをお願いすることはありません。カルテから患者さんの基礎疾患、検査結果、治療内容、治療経過などのデータをまとめ、解析します。

対象となる患者さん

18 歳以上で、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に、研究に参加している医療機関へと肺非結核性抗酸菌症の診断や治療目的で紹介された患者さん、または研究に参加している医療機関で初めて肺非結核性抗酸菌症と診断された患者さんを対象としています。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報
下記の情報をカルテより収集します。
・年齢、性別、基礎疾患などの患者さんの背景
・症状（咳、痰、息切れなど）
・血液検査や画像検査（胸部レントゲンや CT）
・細菌検査（痰の検査など）
・肺非結核性抗酸菌症の専門施設へと紹介された理由
・診断までの経過（研究の参加施設へと紹介されるまでの経過も含みます）や治療内容、治療の経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への情報の提供について

本研究に用いる情報は代表機関へ解析のため集められます。
提供先：長崎大学病院
提供方法：個人が特定できないよう匿名化した上で、電子データとして提供します。

情報の利用開始予定日

本研究は研究機関長の許可日より「研究に用いる・情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。
あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 12 月 31 日

研究実施体制

研究代表者	所属：長崎大学病院　呼吸器内科 氏名：髙園　貴弘 住所：長崎県　長崎市　坂本 1−7−1 電話：095（819）7273
共同研究機関／研究責任者	この研究は長崎大学病院を中心に全国の約 15 機関で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

国立国際医療センター病院における情報の管理責任者	国立健康危機管理研究機構　理事長　國土典宏

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

国立国際医療センター病院　呼吸器内科　担当者名　森野　英里子
〒162−8655　東京都新宿区戸山 1-21-1
電話：03 （3202）7181

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：呼吸器内科
受付時間　　：　9:00 - 17:00